

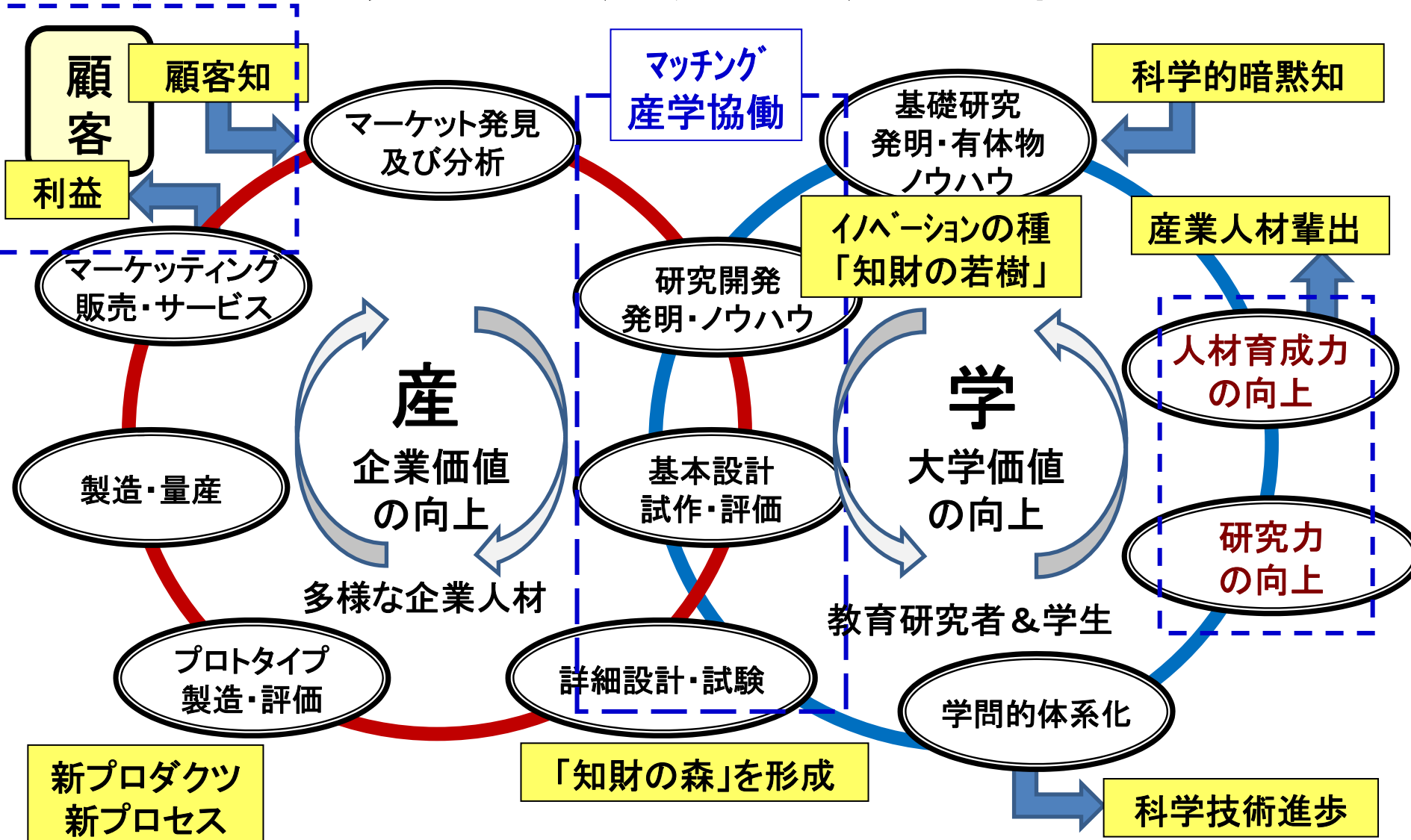
産学官連携・知財活動 — 課題と展望 —

三木 俊克

山口大学 副学長・教授

(有)山口TLO 取締役・執行役員

プロダクト or プロセス・イノベーションと 産学連携・知的財産活動の位置づけ



イノベーションのリスクとコスト(後述)

イノベーションと産学連携・知的財産活動 — 大学経営の観点から —

《基本的な視点について》

- ◆ 産学連携・知財活動は、大学の「研究力」、「人材育成力」を向上する ⇒ 社会財としての大学価値向上

*「学思行相まって良となす」

細井 平洲（ほそい へいしゅう）

学び、考え、実行 することの三つがそろって、学んだことになる。

細井 平洲：享保13年(1728年)～享和元年(1801年)

米沢藩主 上杉鷹山が14歳のときの師でもあった。

産学連携の質的な進化(深化)で大学発イノベーション創出へ

- ◆ 学は、教育研究力の向上の観点で知財活動の位置づけを！
- ◆ 産は、ビジネス！ + 社会財である大学機能強化の視点も！
- ◆ 政官は、産学の自助努力を支援する効果的な投資を！

イノベーションと産学連携・知的財産活動 ー産学学連携・地域イノベーションー

《産学学連携へ向けて》

◆大学間でも「競争」と「共創」へ

- ・国立大学法人化後は、個々の法人利益を考えがち
- ・アカデミズムのオープン性を活かす <相補的な学学連携>

◆複数大学の協働型産学学連携

(例) X 大 + 山口大の異分野研究者協働型産学学連携の試み
↑ (各大学TLOでの裏打ち合わせ)

(特徴)

- ・分野相補的な学学と産の連携 (一種の異分野協働)
- ・TLOはこうした連携の有力なプロモーターになりうる

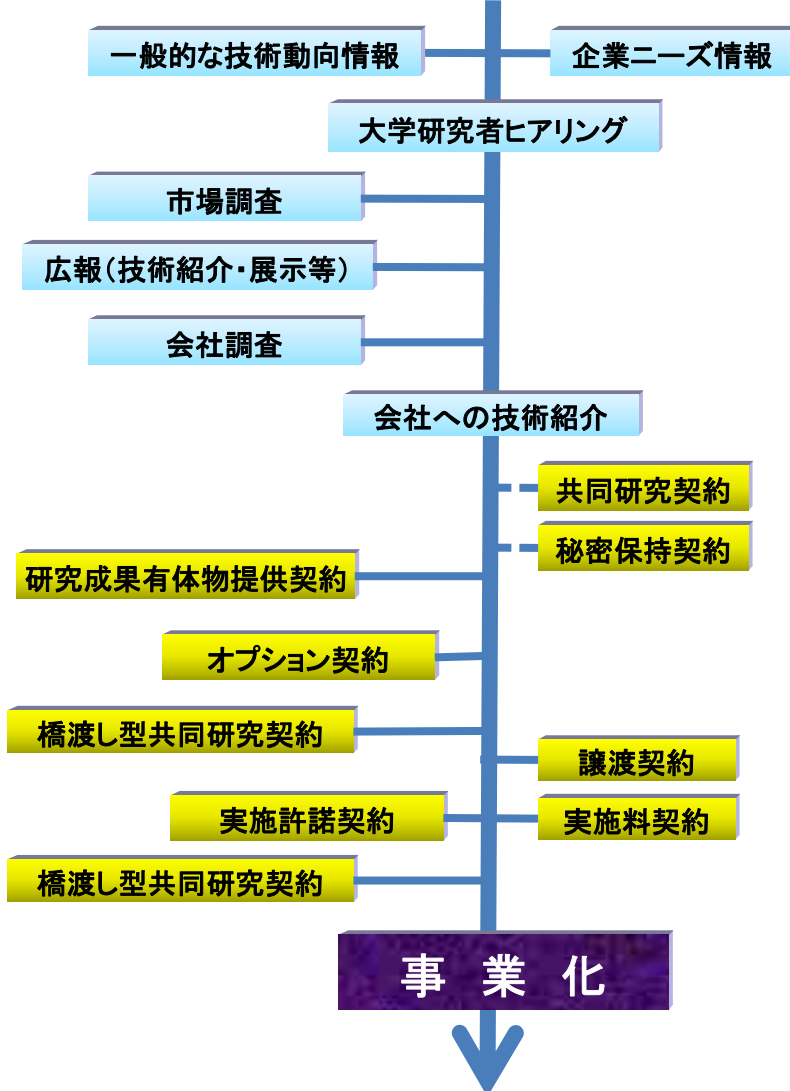
《大学知的財産本部の地域活動》

- ◆地域の大学向け知財担当者研修会 = 学学連携
- ◆地域企業も対象とする知的財産研修会 = 地域知財活動

大学の産学連携・知的財産活動

－活動コストとコスト分担の問題－

一般的な技術移転業務



《様々な契約》

- 秘密保持
- 研究成果有体物提供、ノウハウ提供
- 共同研究、橋渡し型共同研究
- オプション権、実施許諾、有償譲渡

《コスト要因の例》

- 当該技術等の把握に係るコスト
- 出願・権利化コスト(国内、外国)
- 特許管理・有体物管理等のコスト
- 各種調査・広報コスト、交渉等コスト
- 橋渡し型共同研究プロモーションコスト

大学 & TLOは過重なコスト負担には 耐えられない(限度がある)

- 中長期視点からの政策的コスト負担 の必要性
例えば、外国出願、データベース、地域再生、
国際産学連携・知財活動の体制整備、など
- 高リスク・高リターンへの技術分野への政策的投資
- 高リスク・低リターンの技術分野への政策的投資

国全体の力でイノベーション創出